

第3回新野洲クリーンセンター整備事業技術審査委員会の結果について

1. 開催日時 平成26年1月31日（金）14時～16時30分
2. 開催場所 野洲市役所 別館 会議室
3. 出席委員 占部委員長、吉原副委員長、新庄委員、山本委員、竹内委員 以上5名
4. 事務局 寺田環境経済部次長、野玉環境課長、中井野洲クリーンセンター整備室長、同室布施専門員、西野主査、南井主査 以上6名、支援業務受託者3名
5. 傍聴者 なし（委員会設置要綱第5条第3項但し書き規定により非公開）
6. 会議次第

- | | |
|---------------------------|------|
| 1. 開 会 | |
| 2. あいさつ | |
| 3. 議 事 | |
| (1) 見積設計図書の比較について | |
| (2) メーカーヒアリングの実施について（2者） | |
| ・ 確認事項等の主要部（共通ヒアリング事項）の説明 | 約30分 |
| ・ 確認事項及び図書全般について質疑応答 | 約30分 |
| (3) その他 | |
| 4. 閉 会 | |

7. 会議結果

(1) 見積設計図書の比較について

【概要】

新野洲クリーンセンター建設工事の発注準備として、本委員会が提示した見積仕様書を基に、25年10月に見積設計図書の作成について公募し、見積参加者の資格審査（過去10年の受注実績等）を経て、同年12月13日にプラントメーカー二者から見積設計図書（以下のとおり）を受理した。

本委員会が提示した見積仕様書に対し、二者が設計した機器等の仕様が合致しているか否かを事務局において比較検討し、二者に対し質疑書を送付し、回答を得たものを委員会において確認した。

最終的な発注仕様書をつくるための比較検討であり、システム全体での性能保障を確認し、設計計算として妥当なものは採用していく。そのためにも、ヒアリングにおいて設計方針、設計ポリシーを確認したうえで、発注仕様書に反映していくものとした。

<見積設計図書>

施設概要説明図書（施設全体配置図、全体動線計画、各設備概要説明、設計基本数値計算書、運転管理条件等）、設計仕様書（設備別機器仕様書）、図面（全体配置図、動線計画図、各階機器配置図、建物及び焼却炉断面図、フローシート等）、工事工程表、見積書

(2) メーカーヒアリングの実施について

【概要】

見積参加者の二者から提示のあった見積設計図書について、共通ヒアリング事項（以下のとおり）を示し、各見積参加者それぞれから説明を受けた後、質疑応答を行った。

次回委員会では、ヒアリング結果、技術審査結果をとりまとめたうえで、建設工事の発注仕様書を確認する。

<共通ヒアリング事項>

①熱回収施設（焼却炉）について

次世代型ストーカ炉の設計思想（低空気比、高温燃焼）について、本施設で取り入れた内容

等を説明のこと。

②熱回収施設（排ガス処理）について

公害防止基準のうち排ガス基準の性能保証のための設計思想について、本施設で取り入れた内容等を説明のこと。

③熱回収施設（余熱利用）について

白煙防止用空気から温水用熱交換器を利用した温水回収を行う場合、実績や設備規模等から考えて1炉基準時において最大どの程度の熱回収が可能か説明すること。

④熱回収施設（発電）について

場内プロセス利用、場内給湯利用、外部余熱利用（温浴やプール等）を行ったうえで発電可能なシステム（設備）があれば提案すること。

⑤リサイクルセンター（破砕機）について

低速及び高速回転式破砕機の噛み込み対策及び防爆対策について説明すること。

⑥リサイクルセンター（工房等）について

リサイクルセンター機械室内及び工房等啓発施設（居室）の機能的な配置について説明すること。

⑦共通（地下階）について

雨水貯留槽等各水槽の配置及び機能について整理し説明すること。

8. その他

（1）プラスチック製容器包装類の処理方法に関する検討経過と今後の予定について

【概要】

プラスチック製容器包装類の処理方法は、国の動向を見極め、新クリーンセンターの整備に伴い、焼却して熱回収する低コストで効率的な処理方法へと見直すものであり、本年3月開催予定の野洲市廃棄物減量等推進審議会において今後の周知と紙ごみリサイクル等を推進していくことを確認する予定。建設工事の発注仕様書では、焼却して熱回収する前提で整理していく。

（2）第4回委員会の開催予定について

日時 平成26年3月28日（金）14時～

場所 野洲市役所3階第1委員会室

以上